

令和8年度 子どもための心理的応急処置 (Psychological First Aid for Children)

1 日研修開催要項

1 目 的

子どもための心理的応急処置（「Psychological First Aid for Children」(以下「子どもためのPFA」という。))は、災害時などに、災害などの危機的状況で子どものところに配慮した支援ができるよう、支援者が取るべき行動や姿勢を示したものです。世界保健機構 (WHO) などが作成した PFA マニュアルをもとに、セーブ・ザ・チルドレンが2013年に開発しました。研修では、危機的状況を経験した子どもが示す反応や行動を認知発達段階別に学び、PFA の行動原則「見る、聴く、つなぐ」に基づき、子どもに合わせたコミュニケーションの取り方や、必要な支援に適切につなげることの重要性を学びます。

2 主 催

宮城県子ども総合センター

3 協 力

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

4 対象者

種別	具体的職種
教育関係職員	小・中・高・特別支援学校教職員、養護教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー 等
児童福祉施設職員	保育所・認定こども園・地域型保育事業（小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業）教職員、幼稚園教職員、児童館・放課後児童クラブ職員 等
対人援助関係職員	保健福祉事務所（保健所）職員、児童相談所職員 等

5 定 員

各回25名 ※定員に達し次第、申し込みを締め切ります。

6 日 時・会 場

第1回：令和8年11月5日（木）午前9時30分から午後4時30分まで 受付時間は9時10分から
会場：まなウェルみやぎ 多目的室A

第2回：令和9年1月28日（木）午前9時30分から午後4時30分まで 受付時間は9時10分から
会場：まなウェルみやぎ 多目的室A

※両方とも同じ研修内容ですので、いずれか一方を選んでお申込みください。

※両日とも、1時間の昼食休憩を取ります。

7 研修プログラム概要

- ・「子どもためのPFA」とは
- ・危機的状況にいる子どもが一般的に示す反応について（グループワーク＋講義）
- ・PFAを必要とする子どもの見極め方とPFAの行動原則（グループワーク）
- ・ストレスを抱えている子どもとのコミュニケーションの取り方（ロールプレイ）など

- 8 講師 東北医科薬科大学医学部 精神科学教室 准教授 福地 成 氏
合同会社ビーウィズ 代表
東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 客員研究員 猿渡 英代子 氏
一般財団法人 やまとコミュニティホスピタル 光ヶ丘スペルマン病院 地域医療連携室
保健師 尾崎 朱美 氏
一般社団法人 IGUNE 代表理事 木村 裕之 氏
宮城県さわらび学園 技術主幹 佐藤 啓直 氏

9 申込方法等

(1) 申込方法

下記 URL 又は QR コードより「みやぎ電子申請サービス」にアクセスし、メールアドレスを入力します。
入力したメールアドレス宛てに申請フォームの URL を送付するので、必要事項を入力のうえ返信してください（受付完了メールが届くと申込手続きが完了となります）。

■URL : <https://logoform.jp/form/GQGB/1771728>

■QR コード



(2) 申込期間

令和8年9月14日（月）午前9時から令和8年10月8日（木）午後3時までとします。ただし、定員に達した場合、申込期間内であっても受付を終了しますので、御了承願います。

(3) 受講者の決定

令和8年10月15日（木）までに受講決定を通知します。（申込時に入力していただいたメールアドレスに送信します。）

(4) 問合せ先

宮城県子ども総合センター企画育成班 担当 菊池・今春
〒981-1217 名取市美田園二丁目1-4（まなウェルみやぎ）
電 話 022-784-3580
FAX 022-784-3596
メール kosok@pref.miyagi.lg.jp

10 その他

- (1) 本研修は、公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの研修プログラムに沿って実施します。
- (2) 所定の研修課程を履修した方には公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンより修了証を授与します。理由なく欠席あるいは遅刻早退があった場合は、修了証の授与ができない場合がありますのでご注意ください。
- (3) 受講申込書に記載された氏名等の個人情報については、受講者名簿の作成に利用し、それ以外に本人の同意なく受講者名簿を第三者に提供することはありません。ただし、受講者名簿のうち研修修了者の名簿については、修了証作成の際に必要なため、公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ提供しますので、この取扱いに同意いただいた上でお申し込みください。
- (4) 体験型研修のため、動きやすい服装でお越しください（空調による体温調節にも御配慮ください）。
- (5) 水分補給及び昼食は、研修室または周辺のラウンジにおいて取ることができます。ただし、水分はキャップ付きの容器に入ったものを使用してください。
- (6) 当センターが入居する「まなウェルみやぎ」は、併設する「クリニック」や「リハビリテーション支援施設」の患者様が利用する駐車場を常に確保するため、研修受講者は駐車場を利用できない取扱いとなっております。公共交通機関等の御利用をお願いします。